

# 李克強総理の動向

田中 修

## はじめに

本稿では、全人代終了後の李克強総理の動向につき、①国務院常務会議の様態、②国外経済界・学界代表者との懇談、③IMF ラガルド専務理事との会談の概要を紹介する。

## 1. 国務院常務会議（3月18日）

「政府活動報告」の部門責任・分業を明確にし、年間の経済社会発展の主要目標・任務の完成を確保することとした<sup>1</sup>。会議の決定内容は以下のとおりである（新華網北京電 2015年3月18日）。

既に全人代が批准した「政府活動報告」は政府が全国人民に約束した「責任書」である。錯綜し複雑な内外情勢に対し、各部門・各単位は「政府活動報告」の手配に基づき、その職責を尽くし、勤勉に政務に励み成果を上げなければならない。今年の政府活動について、12方面62項目の重点任務・責任単位を確定する。

### （1）経済運営を合理的区間に確保しなければならない

積極的財政政策の力と効率を増大させる措置の実施に取り組み、金融政策手段を柔軟・有効に運用し、企業・末端の難題解決を助け、雇用を安定・拡大する。

経済運営の新しい状況をフォロー・分析し、政策の蓄積・対応案の準備をしっかりと行い、方向を定めたコントロールを強化し、タイムリーに事前調整・微調整を行い、経済の平穏な成長を維持する。

### （2）「2つのエンジン」の育成を加速しなければならない

行政の簡素化・権限の委譲、財政・税制・金融、投融資等の改革をより深め、市場の活力・潜在力を更に好く奮い立たせ、審査・許認可の減少、ハードルの引下げ、減税・費用引下げ等の措置を推進し、大衆による起業・万人によるイノベーションのために障害を取り除きプラットフォームを構築する。

公共財・公共サービスの供給を拡大し、中西部鉄道、重大水利、バラック地区・危険家屋の改造等重点プロジェクトの建設を急ぎ、民生の改善と不足部分の補填を軸に、装置の海外進出と生産能力の国際協力を推進し、発展の新たな動力エネルギーを増大させる。

### （3）責任感・緊迫感を増強し、施策の詳細化・実施・完遂に取り組みなければならない

監査・考課・問責を強化し、人民に対する政府の約束実現を確保する。

---

<sup>1</sup> このほか会議では、農業の現代化と港湾政策の改善・貿易の安定的発展のための措置が決定された。

## 2. 国外ビジネス界・学界代表との懇談（3月23日）

「中国発展ハイレベルフォーラム 2015」に出席した国外代表と座談会を開催した。以下は、李克強総理の応答の概要である（中国政府網 2015年3月24日）。

### （1）外資の役割

中国経済は新常态に入っており、これは世界経済の変化という大背景と切り離すことはできない。世界経済の回復低迷は、実際のところ中国経済が新たな道を歩むことを余儀なくさせている。中国サービス業は多くの分野、とりわけミドル・ハイエンドの分野での経験が不足している。サービス業をさらに発展させるには、いくらかの分野を開放し外資を流入させなければならない。当然、中国サービス業開放・外資参入のプロセスは順序立ったものであり、一步一步進め、ウインウインの局面を形成する。

我々は外国のハイエンド技術・製品に対してより多くの需要があり、ここにおられる多くの企業の母国政府が中国に対する技術・製品の輸出制限を緩和してくれることを希望している。

中国は、鉄鋼・セメント・非鉄金属等でかなり多くの余剰生産能力が存在する。いくらかの発展途上国と互惠・ウインウインの生産能力面での協力を進め、これらの余剰生産能力を輸出する。しかし、この輸出プロセスにおいては依然ハイエンドの技術・装置が必要であり、このため中国が外国と共同で第3国市場を開拓する潜在力は巨大である。

### （2）気候変動・二酸化炭素排出問題

一面において、中国は自己の負うべき責任を回避しないが、他方で中国がより必要としているのは、国外の先進的クリーンエネルギー技術を中国に開放することである。これは、中国が排出削減目標に達する時間を短縮することになり、中国にとって有利だけでなく、全人類にとっても有利である。

### （3）コロンビア大ジョセフ・スティグリッツ教授との対話

中国の30年余りの改革開放は巨大な成果を得、社会にも巨大な進歩があったが、確かに貧富の格差の問題が存在する。最も際立って現れているのは、都市・農村と地域間の格差である。このため、我々は中国経済の「2つのエンジン」を作り上げなければならないと提起した。

1つのエンジンは、公共財・公共サービス、とりわけ中西部地域・農村地域への投入を増やすことである。我々は引き続き人間本位の新しいタイプの都市化を推進する。なぜなら都市化は相当多くの農村住民の願望であるのみならず、公共財・公共サービスの提供から言えば、より効率的に、より容易に人々に均等に与えることができるからである。

もう1つのエンジンは、大衆による起業・万人によるイノベーションを奨励することである。政府の行政簡素化・権限委譲を通じて、多くの人々の起業をより簡便にし、コスト

をより低くする。政府も公平な競争環境を提供する。これは、多くの若者、とりわけ貧困家庭の若者に縦方向への流動あるいは上昇のルートを得させることになる。

政府はまた基本的機能がある。すなわち、全ての人の基本生活を保障しなければならない。特別困窮した大衆に対し、財政は基本生活保障を提供しなければならない。起業の失敗者に対しては、政府は彼らに責任を負い、トランポリンのように落ちても再び跳ね上がることができるようにしなければならない。

#### (4) 需要構造の調整

中国は需要構造から言うと、調整の最大の余地は消費刺激の推進である。喜ばしいことに、昨年経済成長はある程度鈍化したか、消費需要は経済構造全体の中で上昇し、52%近くに達した。「インターネット+」計画のようにサービス業の発展にさらに力を入れることにより、7億近い中国のネットユーザーの相当部分がネットショッピングをできるようにする。

消費に対する投資の推進作用について言えば、中西部の交通施設への投資は便利な交通をもたらし、これは運輸業さらには宅配業の発展をもたらす。大規模なバラック地区改造では、庶民が新居に入ってから、家具・電器その他の製品を購入することになる。

#### (5) 信用バブル・債務問題

総じて言えば、中国の金融リスクは安全でコントロール可能な範囲内にあり、我々には地域的・システミックなリスクを発生させないことを維持する能力がある。

現在、確かに一部の地方で個別事案の金融リスクが出現しているが、我々が採用している措置は、リスクの発生を認め、市場化の方法を用いて解決するというものである。今年我々は預金保険条例を打ち出す。この措置が打ち出されて以後は、中小銀行・民営銀行の発展に更に力を入れることにより、中小企業のために金融により直接的にサービスさせ、大衆による起業・万人によるイノベーションに金融の支えを得させる。

### 3. IMF ラガルド専務理事との会見（3月23日）<sup>2</sup>

#### （1）中国における最も重要な改革

中国の改革の重点は、やはり経済改革である。現代化を実現するには、経済分野において構造的改革を推進しなければならない。構造的改革では、中国経済のために、大衆による起業・万人によるイノベーションと公共財・公共サービスという「2つのエンジン」を作り上げる。

大衆による起業・万人によるイノベーションという「新しいエンジン」については、過去1年、我々は行政の簡素化・権限委譲の改革推進を通じて、新たに登記した企業数を爆発的に伸ばした。これらの新登記企業の大多数はサービス業企業であり、これ自体が構造調整である。

新しいエンジンを作り上げるに際しては、中国の9億人余りの労働力は巨大な創造の情熱を内に秘めており、政府は管理すべきでないものは必ず放棄しなければならない。

今年、我々は行政の簡素化・権限委譲改革を更に強化し、起業家により好い条件を与え、彼らにより大きな情熱を発揮させる。同時に自由貿易区の政策を更に普及し、外資に参入前の国民待遇とネガティブリスト管理を享受させる。開放は改革を牽引することができ、開放それ自体が改革なのである。

公共財・公共サービスという「古いエンジン」については、政府は更に質の優れた公共財・公共サービスを提供しなければならない。これは中国の都市・農村、地域間の発展格差を縮小するものである。都市・農村と地域間の格差は中国経済発展の「最大のアンバランス」であるが、中国発展の巨大な潜在力の所在でもある。

この「古いエンジン」を改造・グレードアップするに際しては、投融資体制改革を推進し、PPP（公私共同経営モデル）と政府によるサービス調達を大いに発展させなければならない。政府に「一人芝居」を演じさせてはならない。

#### （2）金融分野の改革

金融改革を推進する目的は、中国経済の「2つのエンジン」に更に好くサービスさせるためである。一面で、「大衆による起業・万人によるイノベーション」を助力し、他方で、公共財・公共サービスの提供方面でより有力な金融の支えを提供する。

この目的を達成するためには、以下の方面を実施する必要がある。

- ① 中小銀行・民営銀行を大いに発展させ、中小企業・零細企業のために更に多くの金融支援を提供する。
- ② 様々なレベルの資本市場を発展させ、企業の資金調達コストを直接に引き下げ、経済活

---

<sup>2</sup> 中国政府網 2015年3月23日は、この会見の際、李克強総理は①中国経済の解説では「李博士」として、②人民元のSDR加入問題では国家利益の「守護者」として、③大気汚染問題では民生の「代弁者」として、④ラガルド専務理事への接し方では「紳士」の風格で、「4つの身分」を演じた、とやや歯の浮くような讃辞を贈っている。

力を高める。

③投資・金融市場の開放度を拡大する。

### (3) 国際面における中国の指導的役割

中国はなお発展途上国であり、国際面において指導的役割を語ることはできない。我々は、力の限り自身が尽くすべき国際責任・義務を引き受けるが、より重要なことはやはり自分の事をしっかりやるということである。

30年余り前、中国経済は崩壊の縁に達したかのようにであったが、改革開放は多くの人々の創造力を解き放ち、中国経済の持続的な高速発展という奇跡をも創造した。これは我々に貴重な経験を提供した。我々が民間の活力を十分に解き放ちさえすれば、現在の経済の下振れ圧力に抗することができるのである。

### (4) アジアインフラ投資銀行

中国が国際金融機関の設立を提起しているのは、現行の金融秩序を転覆しようとするものではなく、別な手段を講じようとするものでもない。アジアインフラ投資銀行は開放的なものであり、中国も開放を更に拡大する。

### (5) SDR 加入

今年 IMF は SDR について新たな審査を展開するが、人民元に加入の機会があることを希望する。SDR への加入は、グローバル金融の安定擁護という国際責任を中国が一層履行するのに資するものであり、中国金融市場の一層の開放により改革を余儀なくさせることに資するものでもある。

なお、これに対しラガルド専務理事は「IMF は中国とグローバルな協力におけるパートナーであり、友人であり、兄弟姉妹である。私はあなたに明確なスケジュール表を示すことはできないが、我々は中国との協力を全力で強化することを約束 (Promise) する」と婉曲に応じた。

これに対し李克強総理は「あなたが “Promise” という言葉を用いたことは、大きな善意を示したものだ」と笑って答えている。

### (6) 大気汚染

(会談当日 23 日、北京が青天であったのは) ここ 2 日間、北京で大風が吹いていたからである。我々は正にスモッグ等の環境汚染対策の推進に力を入れているところであるが、現在、我々の好天はなお常に「天の助け」が必要である。

中国政府は、省エネ・汚染物質排出削減と環境対策という堅塁攻略戦に断固として打ち勝つ。対策を更に強化して、人民に「青天の美しさ」を享受させなければならない。

(3月26日記)